

事業実施年度（n年度） 活動拠点の整備

真庭市
持続可能なまちづくり
拠点整備事業補助金を活用



「地域に開かれた仕事づくり」
を実施したい団体による
遊休施設（空き家）の拠点整備

活用する遊休施設（空き家）の
所有権（改修了承）は得ている

プロジェクトの実施（n+1年度～n+5年度）

※企画提案書に詳しく明記

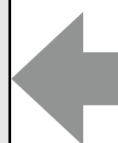
【プロジェクトの実施主体（運営の中心）】
・地域で活動するさまざまな団体（主体）
・地域の未来の担い手を目指す若者（地域内外）

地域内資源
（人/モノ/情報/資金）



【プロジェクトの内容】
・地域の実情の把握や連携
・知識・技術・技能の獲得
・多様な団体（主体）のつながりの構築

地域外資源
（人/モノ/情報/資金）



この地域の魅力・強みは「これだ」
5年後の地域の姿を「こうしたい」
達成したい成果は「これだ」

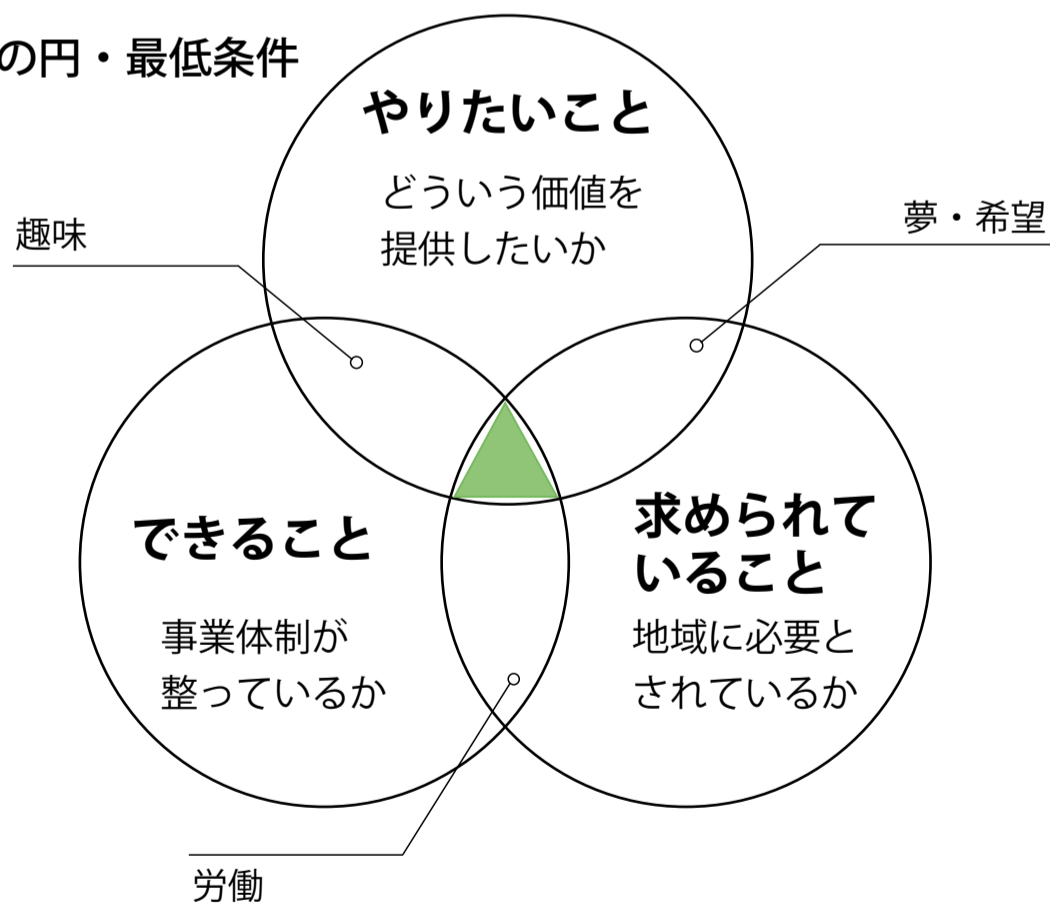
【プロジェクトの成果・目標】
・地域に開かれた新しい仕事（価値）の創出
・新しい仕事（価値）の担い手となる人材の育成

そのために拠点で「これ」をやる
一緒にやる「仲間」はいる
波及するプラスの「影響」もある

【目指す地域社会の長期的な展望】
・持続可能で人々が幸せを実感できる地域となること

良いプロジェクトとは

◆3つの円・最低条件



◆ロジックモデル

プロジェクトの資源、活動、結果、成果、中長期
成果の関係を論理的に示す見取り図。

- ・アウトプット目標：活動によって直接発生した成
果物、事業量
- ・アウトカム目標：プロジェクトによって生じた状
態、変化（地域側の視点で考える）

※目標の考え方 どうなったら成果が出ているとい
えるか。誰をどのような状態にしたいのか。（具
体的、測定可能、達成可能、現実的、期限付き）

例：職人体験プログラムを開催したい

資源 / 投入 （インプット）	活動	直接的結果 （アウトプット）	短期の成果 （アウトカム）	中長期の成果 （インパクト）
講師、職人、謝金、 場所など	講師、職人との打ち 合わせ、広報活動など	クラフト体験開催 （〇回）	〇人参加、職人満足度・ 参加者との関係構築	地域の受け入れ体制確 立、職人の定住